

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価			
データ 分析 表	データ表		データグラフ
	内容	項目数	
	「乳児保育」	15	
	「3歳未満児保育」	26	
	「3歳以上児保育」	0	
	「教育保育の配慮事項」	15	
	「健康・安全」	29	
	「子育ての支援」	18	
	「職員の資質向上」	9	
計	112		
平均	4.65		
総合 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものつぶやきや表情、仕草に丁寧に着目しながら教育・保育を行ったことで、子ども理解がより深めることができた。 ・年間を通して計画的に様々な状況を想定した緊急時の対応訓練を実施したことで、危機管理に対する意識の向上に繋げることができた ・研修においては、今年度より対面型の研修も増えたため、他の受講者との対話が増えたことでより学びが深まっているように感じる。次年度は、それぞれの学びを丁寧に他の職員とも共有することで園全体の質の向上に努めていく。 ・子育て支援や地域との繋がりが課題であるため、園外散歩時の挨拶など職員一人一人ができることから丁寧に取り組みつつ、他施設からも積極的に情報収集を行うことで方法を模索していく。 		

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
発生時の訓練	応急処置（あかいかいほちょうれんこう）、災害時等の避難、感染症対応などの訓練の実施 ・緊急時対応訓練（SIDS 対応訓練や嘔吐処理対応など）を実施する（年7回）
第三者評価の受審	保育・介護・障害福祉サービス提供について、「第三者評価 A 項目」を用いての自己評価の実践 ・年2回(9月・3月)自己評価を実施するとともに、勉強会（8月）を実施し、項目ごとの理解を深める
環境問題への配慮	地域の環境問題に対する取り組みの実践 ・近隣の公園清掃（年6回）や節水・節電について呼びかけを行うなど身近なものから取り組んでいく